

新製品開発・販路拡大支援セミナー

～付加価値の高い食素材を活用した製品開発事例～

当所及び、(地独)北海道立総合研究機構、北海道よろず支援拠点((公財)北海道中小企業総合支援センター)では、食品製造関連企業の付加価値の高い製品開発や、販路拡大を支援することを目的に、道総研が利用拡大に取り組んでいる新食素材や、それらを活用して開発された製品の事例発表等を行う標題セミナーを開催致します。

つきましては、北海道の地域資源を活用し、「自社製品の高付加価値化」や、「他社との差別化」等をお考えの企業様におかれましては、有意義な機会になるかと存じますので、是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

【開催概要】

■日時：平成29年4月24日(月) 13:30～15:30

■場所：札幌すみれホテル 3階 ヴィオレ(札幌市中央区北1条西2丁目)

■参加料：無料

■内容：

1. 『北海道立総合研究機構・食品加工研究センターの概要・取り組みについて』

説明者：(地独)北海道立総合研究機構 本部 連携推進部 主査 村田 さやか 氏

2. 『道産とうもろこしの可能性を引き出す「北海道マルチコーン」を活用した新素材』

説明者：(地独)北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 食品加工研究センター
食品開発部長 柳原 哲司 氏 (道総研戦略研究(食チーム)プロジェクトリーダー)

【北海道マルチコーンについて】

輸入とうもろこしと比較して色や香りの点で優れているため、国産素材によるブランド力の高い製品開発が可能となります。

3. 『道産とうもろこしを活用した高付加価値な商品開発と販路開拓の取り組み』

説明者：(有)ほんだ菓子司 専務取締役 本田 啓輔 氏

【製品概要】食品加工研究センターとの共同研究により、スナック菓子「北海道とうきびポンスナックポントパール」を開発し、道内の土産店等を中心に販売を行っている。

4. 『道産食材を活用した商品開発！販売へ！

～その際、考慮すべき知的財産とは？ どこに相談すればいい？～』

説明者：(独)工業所有権情報・研修館(INPIT) 知財活用センター

地域支援部 専門員(北海道地域統括) 赤沼 正信 氏

5. 『北海道よろず支援拠点の取り組みと支援体制について』

説明者：北海道よろず支援拠点 コーディネーター 小野寺 辰昭 氏

■定員：100名 ※先着順、定員になりしだい締切りとさせていただきます。

■共催：(一社)北海道商工会議所連合会

【お申込方法】下記申込書に必要事項をご記入の上、4月19日(水)までにFAXにてお申込下さい。

【お問合せ先】札幌商工会議所 国際・観光部 食産業・貿易課(担当：菅原) TEL:011-231-1332

*****<切り取り不要>*****

札幌商工会議所 食産業・貿易課宛 (FAX宛先:011-222-5215)

「新製品開発・販路拡大支援セミナー」参加申込書

会社名			
電話番号		E-mail	
参加者氏名		役職	
参加者氏名		役職	

※ご記入頂きました情報は当事業の運営に使用するほか、今後の同種の案内等に使用することがございます。